

# 景気景況調査報告

## (第7回)

平成29年 7～9月期 実績  
平成29年10～12月期 見通し

平成29年10月

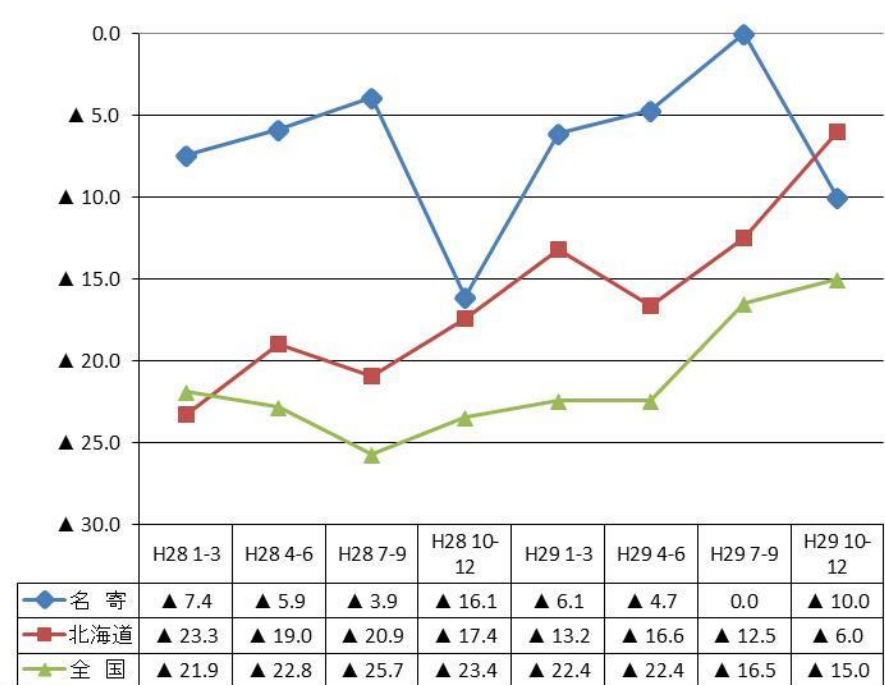
名寄商工会議所

# I 調査要領

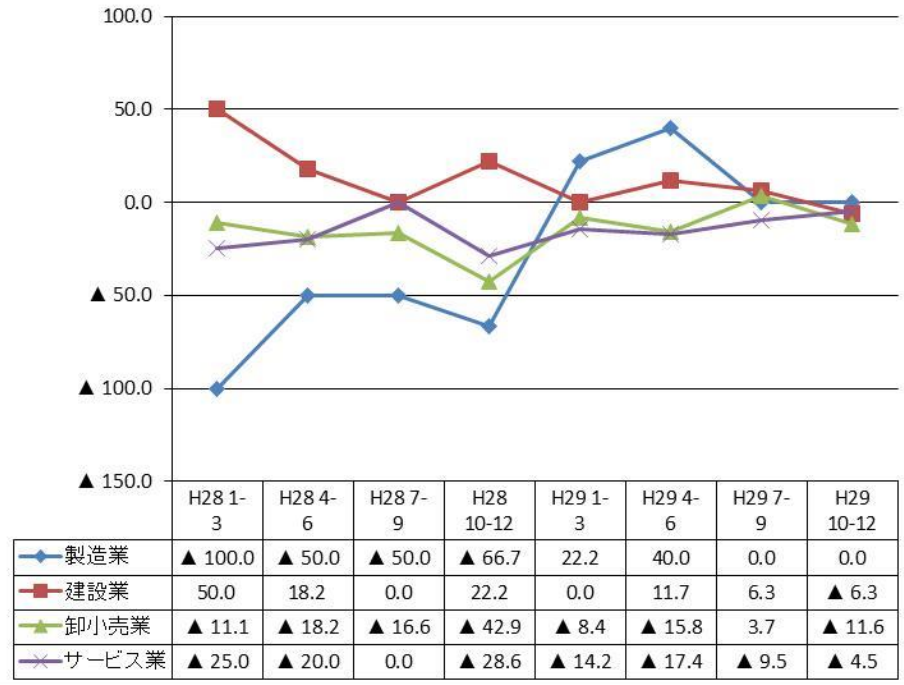
- ①調査対象期間 平成29年7～9月期の実績及び平成29年10～12月期の見通し
- ②調査内容 製造業、建設業、卸小売業、サービス業の4業種に分類し、売上高、採算、仕入、従業員、業況、資金繰りの6項目について調査を実施。
- ③調査対象 当所会員企業（FAXで協力願い）72社

# II 調査結果

全業種平均業況DI



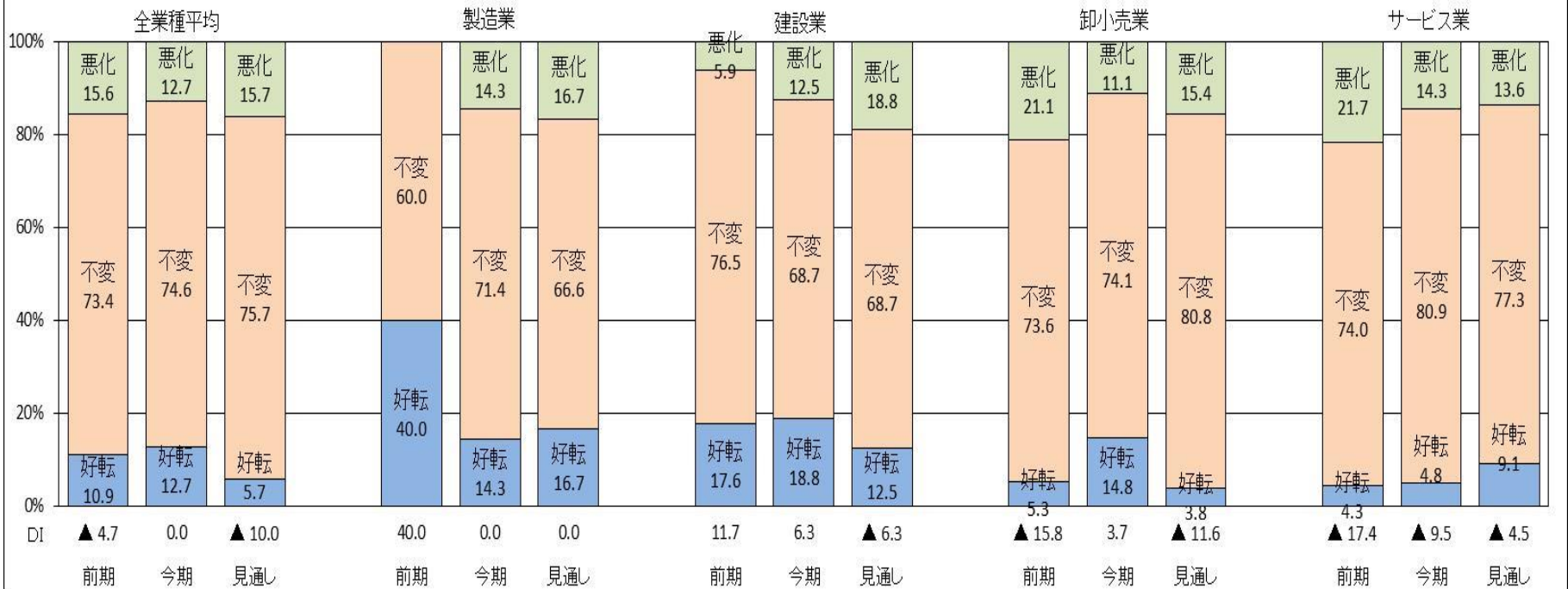
業種別業況DI



※DI：「好転」の回答企業と「悪化」の回答企業の差

- ・ 今期、全業種平均で0ポイントと前回の調査に比べ4.7ポイント上昇、卸小売業とサービス業で回復傾向が見られる。見通しでは平均▲10ポイントと悪化が見込まれる。
- ・ 北海道（道商連調査）の景気と比較すると、共に上昇傾向にあるが、見通しでは北海道▲6ポイントと上昇しているが名寄市では▲10ポイントと悪化するとみられている。
- ・ 全国（日商調査）の景気と比較すると、今期は16.5ポイント上回り、見通しでも5ポイント上回る状況となった。
- ・ 見通しでは、北海道、全国の見通しとも、当期より改善する見通しとなっているが、名寄市は悪化傾向にある。

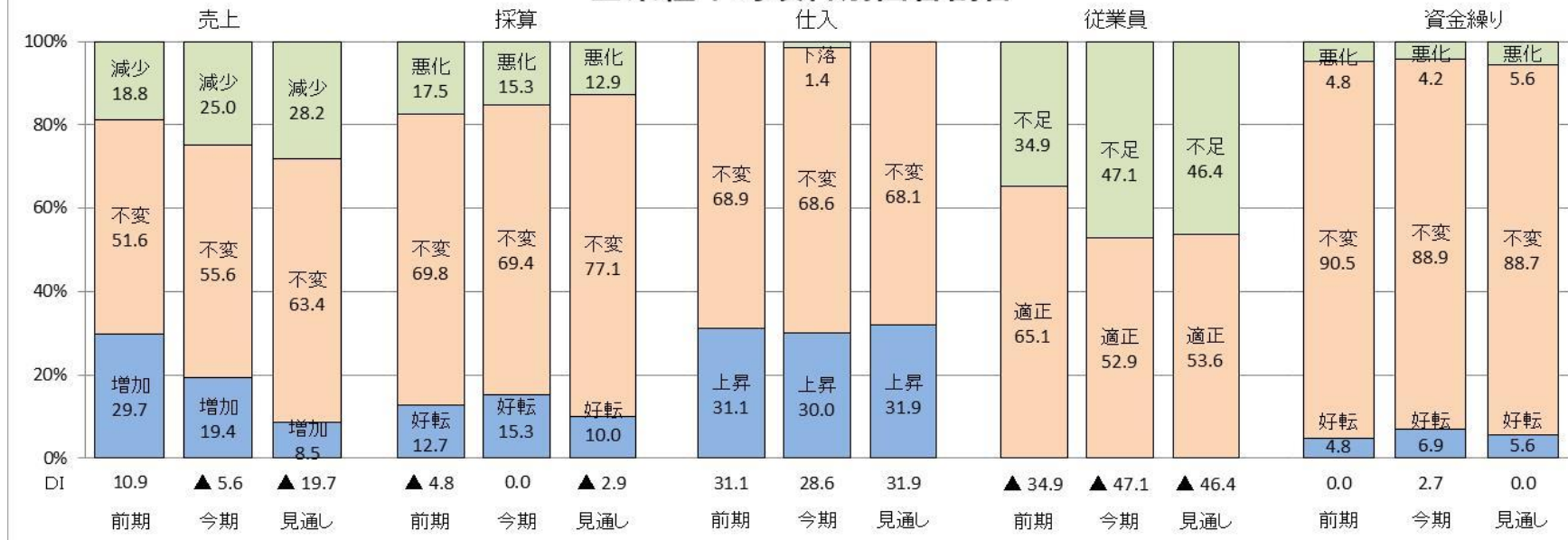
## 業種別業況回答割合



### ※DI：「好転」の回答企業と「悪化」の回答企業の差

- ・ 製造業～今期「好転」が減少し「悪化」が増加、見通しでもほぼ変わらない状況となっている。  
サンルダム工事によりコンクリート等の資材受注の為上昇したとある一方、全体的には悪化したと回答。
- ・ 建設業～今期の「好転」はあまり変わらないものの、「悪化」が6.6%増加。見通しでは「不変」は変わらず「好転」から「悪化」と回答。市のリフォーム補助金制度による受注の増加はあるものの業況悪化が見込まれる。
- ・ 卸小売業～今期「悪化」11.1%と前期より10%減少し「好転」が9.5%増加している。要因は人件費等経費は変わらず売上が増加したこと見通しでは「好転」が3.8%と今期より11%減少見込みである。市内全体の人口減少が不安視されている。
- ・ サービス業～今期「悪化」21.7%と前期より4.6%増加したものの、「好転」も1.4%増加している。見通しでは「悪化」が13%、「好転」8.7%と若干の改善が見込める。公共工事関係者による影響があると思われる。

## 全業種平均項目別回答割合



### 売上DI

見通しは▲19.7ポイントと今期より14.1ポイント悪化見込。前期から減少傾向にある。  
 ・人口減少や人手不足が売り上げに直結している。また、公共工事の減少や少額工事の減少すると回答

### 採算DI

今期▲0ポイントと前期より4.8ポイント改善。見込みでは▲2.9ポイントと今期より2.9ポイント減少。

- [好転の要因] ・製品需要増 ・値上がりしたため
- [悪化の要因] ・人手不足 ・公共工事の減少 ・仕入単価の上昇

### 仕入DI

今期28.6ポイントと前期より2.5ポイント減少。見込みでは31.9ポイントと今期より3.3ポイント増加。  
 仕入価格の更なる上昇があり、見通しでも上がる予想である。

- [上昇の要因] ・円安による影響 ・人件費上昇による値上 ・資材や原材料の高騰

### 従業員DI

今期で▲47.1ポイントと前期よりも12.2ポイント増加。見込みでも▲46.4ポイントと今期同様従業員不足の問題は以前として続いており、特に建設業による不足の声が多い。

- [不足の要因] ・受注容量に対して人手不足 ・小さな会社へは就職しない ・大型車両運転手不足
- ・仕事量が多く一人あたりの負担が増している ・能力不足や社員が定着しない
- ・募集しても集まらない ・求人の募集媒体が少ない ・人口減少

### 資金繰りDI

今期で2.7ポイントと前期から微増。見込みで0ポイントとなるがほぼ横ばいとなっている。